



グラウンド・ゴルフ国際大会

YURIHAMA 2024

参加国代表者会議



会議録

日時 2024年9月27日 15時30分～17時30分

場所 国民宿舎水明荘

日程 1. 開会

2. あいさつ

3. 内容

(1) ワールドマスタースゲームズ2027関西について

(2) 用具販売について

(3) 国際グラウンド・ゴルフ連盟（IGGF）について

4. 閉会

■ 出席者



■ 各国代表者

- 日 本：公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会会長、常務理事および普及事業委員長
宇治市国際親善協会員
湯梨浜まちづくり係専務取締役および社員
- ア メ リ カ：ハワイ島日系人商工会議所元会頭
- 韓 国：済州特別自治道グラウンド・ゴルフ協会会長および事務局長
利川市グラウンド・ゴルフ協会会長および事務局長
- モ ン ゴ ル：中央県グラウンド・ゴルフ協会会長
- ポーランド
- スリランカ：スリランカグラウンド・ゴルフ協会会長
- ス ペ イ ン：スペイングラウンド・ゴルフ協会会長

■ 主催者

湯梨浜町長、教育長、生涯学習課・人権推進課長およびデジタル・みらい戦略課長
鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課長



1. 開会

教 育 長：それではお揃いになりましたので、開会します。このほどは、グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMA2024にご参加くださり誠にありがとうございます。ようこそ、湯梨浜町においでくださいました。ただいまから参加国代表者会議を開会します。終了時刻は遅くとも18時とさせていただきますと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。それでは、本日ご出席くださいました皆様をご紹介します。

<出席者を紹介>

以上の皆様にご意見を伺いたいと思います。それでは初めに、湯梨浜町長が皆様にごあいさつを申し上げます。

2. あいさつ

町 長：本日はお疲れ様でした。ベストのスコアが出ましたでしょうか。本日は鳥取県民にとりまして、この上ない喜びの日です。国会における最大勢力・自民党の総裁選があり、鳥取県出身の国会議員が見事勝ちまして、次期総理大臣に決定しました。この議員さんはグラウンド・ゴルフ推進議員連盟の会長です。今後、グラウンド・ゴルフの発展に益々ご尽力いただけるものと期待しています。さて、皆様にこのようにお集まりいただき、会議を開催できることは本当にありがたいことと思っています。コロナ禍の間、不自由をしてきただけに、本日の会議開催はこの上ない喜びです。本日はいくつか議題を用意しています。ワールドマスターズゲームズ2027関西、用具販売、国際グラウンド・ゴルフ連盟の3点について皆様にご相談申し上げることにしています。どうぞよろしくお願いします。

3. 内容

教 育 長：ありがとうございました。それでは三つの議題について、鳥取県、湯梨浜まちづくり株式会社および日本グラウンド・ゴルフ協会がそれぞれご説明します。その後、各国の皆様のご意見を伺いたいと思います。通訳ですが、それぞれの通訳が必要となりますので、少しお話をさせていただいた後に、その国の通訳により日本語に通訳していただき、その後それぞれの通訳が各国の母国語で説明してください。それではここからの司会進行を町長にお願いします。

町 長：よろしくお願いします。最初の議題「ワールドマスターズゲームズ2027関西」について、鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課長に説明をお願いします。

(1) ワールドマスターズゲームズ2027関西について

鳥 取 県：本日は朝早くからお疲れ様でした。資料に基づいて説明します。この大会は国際マスターズゲームズ協会という、世界的な機関が主催している大会です。おおむね30歳以上であれば誰でも参加できます。2021年に鳥取県を含む関西一沿で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2027年に延期となりました。参加資格の年齢上限はありません。年代別に競技種目を実施し、各年代別に3位までメダルを授与する予定です。開催期間は2027年5月14日から30日までです。開催競技は35競技59種目です。参加者は全体で5万を予定しており、このうち国外2万人、国内3万人です。約150か国からの参加を見込んでいます。グラウンド・ゴルフはここ湯梨浜町の、本日大会が開催された潮風の丘とまりで行われることになっています。県内では、その他に柔道、アーチェリー、自転車競技が行われます。グラウンド・ゴルフの開催期日2027年5月28日、5月29日の2日です。参加者は約700人です。開催方法につきましては、まだ確定していませんが、3コース24ホールの合計打数で順位を決定する予定です。プレー自体は全年齢が一斉に行いますが、年代別にメダルを授与します。

町 長：ご質問などはございますでしょうか。なお、先ほどお話がありましたように、ワールドマスターズゲームズ関西2027が5月に開催されることに伴いまして、湯梨浜町の国際大会も来年からは5月に開催し、本番に備える予定です。ご理解をお願いします。ワールドマスターズゲームズは、1人5種目まで参加できる決まりです。競技は、鳥取県だけではなく、大阪府、京都府、兵庫県などの関西圏も会場となります。参加者の移動に対する支援制度も設けられます。

モンゴル：年齢別で行われるということですが、性別はどのように取り扱われますか。昨年国際大会に参加したモンゴルグラウンド・ゴルフ協会から、グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMAは男女混同とお聞きし、大変驚きました。国際的な各種スポーツ競技は男女別ですので、グラウンド・ゴルフも男女別としていただきたいと思います。もう一つ、3コース24ホールということですが、ワールドマスターズゲームズは国際大会よりレベルは高いはずで、多くの人が参加しますので時間はかかると思いますが、ぜひとも国際大会のように4コース32ホールで実施していただきたいと思います。

鳥取県：男女ともにプレーしますが、表彰については男女別で行う予定です。

日本GG協会：町長からお話がありましたように、日本の新しい総理大臣が1時間前に誕生しました。その議員は、グラウンド・ゴルフを支援してくれる国会議員120人の会長です。今後、町長と私は総理官邸に赴き、グラウンド・ゴルフを世界中に広げていただくようお願いする予定です。さて、年齢別や性別について質問がありますが、これに対しましては、約40年前のグラウンド・ゴルフの誕生にさかのぼり、理念についてお話する必要があります。約40年前、日本では生涯スポーツの考え方がようやく広まりつつありました。その時に、旧泊村で考案されたのがグラウンド・ゴルフです。生涯スポーツですから、いつでもどこでも誰でもプレーできるというのが基本です。グラウンド・ゴルフは世界一簡単なルールで、強い体力も、優れた技能も必要ありません。それがグラウンド・ゴルフの特徴です。つまり、子どもから高齢者まで一緒に、男女も一緒に同じ条件でプレーする、そういう理念で誕生したのがグラウンド・ゴルフです。今、日本グラウンド・ゴルフ協会が主催する大会は全てその考え方に基いていますから、性別とか障がいの有無で分けるとか、年齢で分けるといったことは一切やっていません。生涯スポーツの先進地であるヨーロッパ各国を中心にぜひ賛同していただいて、大事にいただけたらありがたいと思います。各国によって国情が違いますから、考え方を統一することは無理だと思いますが、日本が、旧泊村がグラウンド・ゴルフを考案した最も根底的な考え方はそういうことです。

アメリカ：参加人数はおおよそ672人ということですが、ワールドマスターズゲームズにしては少々少なくありませんか。規模を大きくする予定ありますか。

町 長：湯梨浜町では、発祥地大会という国内向けの大会を毎年開催しています。これが780人規模です。2日間の日程であれば、運営上、この人数が上限だと考えています。海外からの参加者には初心者も含まれる可能性も高いということになれば、安全面に配慮する必要があります。もっとコースがある会場であれば良かったのですが、現状の四つのコースとでは開催が困難であるということでご理解ください。

（２）用具販売について

町 長：次の議題に移ります。用具販売について、湯梨浜町の人口減少対策など各種方面で頑張っている湯梨浜まちづくり株式会社に説明をお願いします。

まちづくり(株)：ようこそ湯梨浜町においでくださいました。湯梨浜まちづくり(株)は、行政と一緒に湯梨浜町を元気にしていこうと事業展開しています。そのうちのひとつとして、グラウンド・ゴルフ用具の海外販売を行っています。この事業は、海外で用具を入手するのが困難だという事情があり、弊社が開始したという経緯があります。国内のメーカーから仕入れて、町の補助により現在20%offで販売しています。輸送料も町の補助により、皆様に負担していただかない形で販売しています。ただし、注意点がございます。お支払いの際、自国と日本の銀行手数料、場合によっては中継の銀行手数料も負担していただくことになります。商品のお受け取りの際には関税もかかり、国によっては高い場合もありますので、関税の率をご確認ください。送料は無料と申しましたが、各国内での送料がかかる場合もありますので、ご注意ください。20%off販売につきましてはもう少し予算がありますので、弊社ホームページでカタログをご覧の上、購入手続きしてください。日本国内メーカー7社の商品を扱っています。よろしくお願いします。最後になりますが、このほどの大会でのご健闘をお祈りします。

町長：ご質問などはございますか。ないようでしたら、3番目の議題に移ります。

(3) 国際グラウンド・ゴルフ連盟（IGGF）について

日本GG協会：資料をご覧ください。国際グラウンド・ゴルフ連盟の成り立ちについてお話しします。2019年5月のこの会議で、世界共通の考え方でグラウンド・ゴルフを正しく普及するために国際組織が必要ということで、出席した9か国から強く提案していただきました。つまり、本日ご出席いただいた国に3か国加えた国が当時出席していただきましたが、皆様の強い要望で出来上がった組織です。これら9か国からは、グラウンド・ゴルフについて実績がある日本がリードしてほしいというご意見をいただきました。そういった皆様のお声を踏まえて規約を提案させていただきました。その場で認められました規約に基づくIGGFの目的や事業は、資料に示した通りです。ところが、設立されてすぐに世界中がコロナ禍におちいりまして、全く活動もできませんし、皆様と連絡を取ることもできなかったというのが現状です。一番の目的は、グラウンド・ゴルフの正しい考え方を世界各国に普及したい、伝えたいということです。そして、世界各国で同一の条件でプレー、あるいは大会運営ができる、といったこともIGGFが役割を担うと考えたわけです。皆様と常に共通理解を図りながらグラウンド・ゴルフを正しく広めていきたい、それが一番の狙いです。資料にあるような事業を推進するまでには至っていませんが、このような事業を行うことが本来の国際的なスポーツ団体の役割ではないかと思っています。これから少しずつ取り組んでいく必要があると思っています。当時の会議で役員を選出しましたが、コロナ禍で組織が機能しなかったのが事実です。したがって、本日の会議が仕切り直しと言いますか、再出発の会議だと思っています。設立した当時の熱い雰囲気から、かなりの国に加盟していただけたと思っていましたが、実際はそうならなかったのが現実です。国際的な組織ですから、国単位の協会が加盟するという規約でした。しかし、実際に国の名前をつけたグラウンド・ゴルフ協会を設立していたのは、3か国にすぎませんでした。恐らく国レベルの組織を立ち上げるのはかなり難しいと感じましたので、このほど皆様に加盟していただきやすいような規約に改定しました。つまり、これまで国単位でないと加盟できないということで、いわゆる正会員しかなかったわけですが、今後は準加盟制度を設けて、国として組織ができていなくても、一定のクラブでまとまったら加盟していただけることとなります。各国の状況を見ますと、正会員が増える状況にはないと思っていますので、ぜひこの準加盟制度で皆様と仲良くグラウンド・ゴルフの国際的な普及を図っていききたいと思います。国代表として組織ができていると思われるのは、まず日本です。約40年の歴史があります。日本以外ではスペイン、モンゴル、中華台北です。その他の国あるいは地域におきましては、国としてまとまらなくても準加盟として加盟していただくべく、会

議の後、皆様に書類を発出する予定です。

もう一つお願いがあります。プレーする際、ルール解釈の相違が多くあると、円滑に大会運営することができません。そこで、現在グラウンド・ゴルフが普及している、広まりつつある国の言語でルールをまとめました。なお、国連公用語のうちアラビア語は手がけることができませんでした。資料にQRコードがあります。読み取っていただくと、100ページ近い英語版ルールの解説書をご覧になれます。これを読んでいただくと、皆様がプレーされるときの問題点はほとんど解消すると思います。分量が多いですが、問題になったところの条文を見ていただいたら解決します。ぜひご活用ください。

スペイン：各国で協会を設立するに当たっては、それぞれ様々な問題があると思います。オリンピック委員会も同様だと思います。これから各国でグラウンド・ゴルフ協会を設立し、国から認可されたり、国がスポーツとして認めてくれたりして、IGGFに加盟するまでの道りは各国で違うと思います。例えばスペインでも、まずグラウンド・ゴルフをスポーツとして国に認めてもらわないことには、協会を設立することができません。そのためには、先ほどモンゴルの人がおっしゃったように、女性と男性とで分かれて競技をするということが重要となります。ワールドマスターズゲームズの参加が年齢別であるということは、グラウンド・ゴルフではなく、ワールドマスターズゲームズという大きな組織で決まっていることだと思います。

日本GG協会：今私が説明したような概念はヨーロッパ各国には理解していただけないということですか。

スペイン：アジアの事情はわかりませんが、私の経験上、ヨーロッパで理解されるのは難しいと思います。「グラウンド・ゴルフの世界大会をしましょう」だけでは、各国の支援はそれぞれ違ってくると思います。

日本GG協会：今年3月のセゴビア大会では、男女別や年齢別の問題が生じましたか。

スペイン：生じていません。

日本GG協会：競技スポーツの概念が強い国でしたら恐らくこの生涯スポーツ＝グラウンド・ゴルフは受けられないと思います。そういった国はIGGFには加盟されないと思いますが、グラウンド・ゴルフの基本的な理念に共鳴される国や地域から少しずつ輪を広げていけばいいと思っています。私どもの会員は11万人ですが、ほとんどの会員がルールブックを持っていて、私が先ほど申し上げたような理念を理解しています。競技スポーツの考え方とはなかなか相容れない部分があり、そのようなご意見もたくさん聞きます。日本グラウンド・ゴルフ協会が設立された時の資料にはこのように書かれていました。これまでのスポーツとは違い、スポーツが不得意な人でも取り組んでもらえるスポーツを考案したいというものでした。このため、ホールインワンするとマイナス3にして、スポーツが得意でない人も上位になるという考え方です。さらに、男女、子ども、高齢者、障がいのある人もみんな一緒の場所でプレーするという考え方です。ほかにも何点かありましたが、確かにこれらをずっと維持しているというのが私の実感です。国情が違う、地域が違う、歴史が違う、これらが国際化の難しさだと思います。しかし、皆様はグラウンド・ゴルフを楽しんでいるのではあ

スペイン：そうです。

日本GG協会：それが基本ですね。問題が生じても皆様自己責任で解決していますよね。審判員が要ら

ないのがグラウンド・ゴルフですから。

モンゴル：誰でも一緒にプレーすることは構いません。ただし、結果は年齢や男女で分けた方がいいと思います。モンゴルでは、どんな大会でも年齢は三つか四つに分かれています。ナランバートル会長の意見も聞いてきましたが、世界中に広げようとするのであれば、ほかのスポーツと同様、なるべく結果は男女別にさせていただきたいということです。それと、スコアカードについてですが、結果が出るまでに時間がかかっています。モンゴルでは、パソコンに入力するなどしていますが、どうしても時間がかかってしまいます。ダーツはすぐに結果が出ます。インターネットで見て、何本当たっているのか、勝っているのか、すぐにわかります。タブレットなどにプログラムを入れて、1コースが終わったらすぐに結果を出すようなやり方を考えてほしいです。

日本GG協会：ご意見をありがとうございます。ワールドマスターズゲームズについては解決と思いますが、国際大会については日本GG協会の考え方を尊重していただいていますので、湯梨浜町においてご検討していただくことにしましょう。スコアの処理は、非常に頭の痛い問題です。これにつきましては、日本GG協会のルール等委員会委員長が出席していますので、意見を伺いましょう。

＜ルール等委員会委員長＞

確かに組ごとにタブレットを持って入力し、それらを集約すると、おっしゃるようにすぐに結果が出るかもしれません。ただし、現時点でそのようなソフトはないということと、高齢者が果たして入力できるのかという問題もあると思います。それらを解決しながら、おっしゃられた方向に近づいていくことになると思います。日本でも各地でそのようなことが試みられています。具体的な形にはなっていませんが、かなり研究されている地域もあります。いつか皆様にご紹介したいと思います。

日本GG協会員の平均年齢は79.8歳です。その人たちはタブレットなどに、ごく一部の人しか対応できませんので、提案してくださったことは非常にいいことだとわかっていますが、とてもまだそういう状況にはありません。

スリランカ：IGGFの加盟手続きについて資料に掲載されていますが、不明な点がある場合はどちらに問い合わせたらよろしいでしょうか。もう1点、ワールドマスターズゲームズが2025年に台北であると紹介されていますが、これは決定ですか。

鳥取県：ワールドマスターズゲームズ自体は2025年にあります。ただし、競技としてグラウンド・ゴルフはありません。

日本GG協会：スリランカには国としてまとまった組織がありますか。加盟を申し込まれる際は、本日お示しした資料中の様式に、規約、役員名簿などを添付していただきたいと思います。時間も少なくなりましたので、次に進みたいと思います。今回仕切り直しの会議と申しましたが、規約上、IGGFの役員の任期は2年となっています。2019年に設立しましたから、任期は終わっています。このため、今日新たなスタートとして役員を選出したいと思います。当然、理事国になる国からしか役員を選出することができません。このうち、ハンガリーとポーランドについてはクラブレベルの組織です。したがって、日本、スペイン、中華台北、モンゴルのうちから役員を選出するというのが、今日の流れになります。2019年に韓国の大韓グラウンド・ゴルフ協会にご案内を差し上げても加盟の意思を示していただけませんでした。本日はご出席いただいていませんが、今後団体の方針を確認させていただきたいと考えています。役員についてももう少しお話をさせてください。2019年

の設立時に「日本GG協会によりリードしてもらわないと、組織が動かない」といったご意見もありましたので、それを踏襲して、本日から2年間のIGGFの役員を提案します。順次氏名などを申し上げます。顧問については、グラウンド・ゴルフの国際普及に貢献していただいている湯梨浜町長と、モンゴルオリンピック委員会の会長です。モンゴルは、ポーランド、ハンガリー、カザフスタンなどにグラウンド・ゴルフを広めていただいて、今も尽力していただいています。会長は、規約にもありますように、日本GG協会の役員となっていますので、僭越ながら、会長である私が引き続きやらせていただくということでお認めいただけますか。

<拍手>

副会長は、十数年来ずっとヨーロッパ各国でグラウンド・ゴルフを広めていただいていたと思います、スペイングラウンド・ゴルフ協会会長に引き続きお願いしたいと思います。

<拍手>

組織の運営には日本GG協会の役員が関わる必要がありますので、日本GG協会専務理事を副会長、同じく事務局長を事務局長にし、進めていきたいと思います。よろしいでしょうか。

<拍手>

ありがとうございます。理事は、加盟国のうちモンゴル、中華台北からお一人ずつお願いします。それと、ルールに詳しい日本GG協会の常務理事・内藤幾雄を選出させていただきます。もう1人は、2019年の設立時、IGGFの規約など膨大な文章を英訳してくださったアメリカ人女性にお願いしたいと思います。今日から2年間、このメンバーで運営させていただきたく思います。よろしいでしょうか。ご賛同くださいますようお願いいたします。

<拍手>

今後準加盟をご希望される場合は、本日お示しした様式に規約、役員一覧などを添付してお送りください。理事に諮って検討します。IGGFについての説明は以上です。

町 長：ありがとうございます。ご意見やご質問はございますか。

韓 国：2019年の会議にも参加しました。本日の会議の印象は、全部事前に決定されたことを報告しているようで、会議で話し合った上で決めるというようには感じませんでした。このような方法がグラウンド・ゴルフの発展につながるのか疑問です。

町 長：先ほど日本GG協会のお話を聞いて感じましたが、韓国はIGGFに加盟していただいていないので、このほど役員をしていただくことができないということではないでしょうか。

韓 国：2019年の会議も全部決まっていました。今回、大韓グラウンド・ゴルフ協会は参加していないのに、役員はすでに決められています。その発表を聞くために出席したのであれば意味がないと感じます。

日本GG協会：基本的な組織論の問題だと思います。グラウンド・ゴルフに限らず、一般の組織において

も、組織に加わって、正式な資格を持っている者の中から役員を選ぶわけですから、2019年の提案に基づいてIGGFに加盟していただければ、恐らく本日は違った流れになったと思います。大韓グラウンド・ゴルフ協会は加盟されていませんから、そもそも組織に加わっていないのに役員にしろという話にはならないということです。加盟されていれば、役員候補として検討することもできたでしょう。「すでに決まっていること」とおっしゃいますが、2019年は出席した9か国の承認を得ています。韓国のご出席者は気に入らなかったかもしれませんが、会議において公正に決定したと理解しています。

町 長：口を挟ませていただきますが、資料に加盟国が記載してあります。記載のとおり、韓国は加盟されていませんので、今回は役員選出の対象にはならないということです。2019年の会議の際、韓国のご出席者が、韓国には多くの愛好者がいるのになぜ役員に選ばれないのかとおっしゃったことを記憶しています。当時、周辺国への普及活動状況などを鑑みて選出した経緯があります。今回、示し合わせてこのような提案がなされているわけではなく、本日初めて提案内容が示されました。今後、ぜひともIGGFへの加盟をご検討いただきたいと思います。

そのほか、何かございませんか。

アメリカ：2019年の会議に参加しましたが、IGGFには加盟していません。しかし、可能であれば今後IGGFに加盟し、我々の声をしっかり届けるよう努力したいと思います。

日本GG協会：非常にありがたいお言葉です。準加盟制度を設けましたので、ぜひアメリカ・ハワイ州の団体として加盟していただき、これからもこのような会議で発言していただきたいと思います。

ポーランド：まず、この大会に参加できたことを大変光栄に思っています。本当にありがとうございます。私はポーランドの代表として出席していますが、投票のルールについて説明を受けていません。仮に本日投票があるとすれば、私は何をすればいいのか全くわかりません。資料にはポーランドが加盟国とされていますが、加盟手続きした人たちのことが大変気になります。もちろん私はこれからIGGFに加盟して交流したいと思いますが、私の国の法律では、組織を設立することは簡単に許されませんし、正直言いましてグラウンド・ゴルフ協会を作ることは不可能です。本日の会議の出席者を見ましても、私のような人もいらっしゃる、力がある人もいらっしゃるようで、多様な出席者がいらっしゃるということも気になります。これに対してご意見をいただけますでしょうか。

日本GG協会：お聞きしたところ、ポーランドでは国レベルの組織を設立するのは難しいということですから、加盟国からはポーランドを外さないといけなことが理解できました。IGGFに加盟していただけるということであれば、本日提案した準加盟制度をご利用ください。

4. 閉会

町 長：各国においていくつかの団体を一つにして、誰かが代表するということはなかなか難しいと思います。とりあえずは並行的にIGGFに加盟していただき、このような場でご意見をいただきながら、議論を重ねていきたいと思います。そのほか、何かございますか。よろしいですか。長時間になりましたが、おかげさまでいろいろなことについて議論することができました。不十分な点もあろうかと思いますが、引き続き皆様のご意見を伺いながら、IGGFがより良く運営されるよう祈っています。それでは閉会します。どうもありがとうございました。